

2019

ノートルダム女学院中学高等学校

PREP
総合
Course

12月17日（火）
高1プレップ総合コース「つばさノスマイル・プロジェクト」
第4回ザ・リッツ・カールトン京都との連携プログラム

今回は連携プログラムの締めくくりとしてザ・リッツ・カールトン京都へ赴き、ホテルの中で料理をいただきながら、今までの授業内容を復習しました。美味しい料理をいただきホテルの方々さりげなく細やかな心遣いに触れる中で、生徒たちは、授業のテーマである「ホスピタリティ」のヒントを得ることができたのではないのでしょうか。また、本物を体験することが、生徒たちの真の感動を引き出していたと感じました。



2019

ノートルダム女学院中学高等学校

GLOBAL
英語
Course

12月12~13日 中1・2 Englishキャンプ

中学1年生、2年生のグローバル英語コースでは12月12日（木）、13日（金）にEnglish Campを行いました。日常生活に必要な英語の練習から始め、お祈りも英語で行いました。キャンプの大目玉は聖劇"The Nativity"の練習、発表です。1日半という限られた練習時間を目いっぱい使って、2日目の発表ではしっかりと観客の皆さんに感動を届けてくれました。



12月15日（日）one world festival youth

＼ワンワールドフェスティバル for Youthに出展、今年も各部門で入賞しました！／

12月15日（日）に大阪YMCAで開催された、高校生のための国際交流・国際協力EXPO『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth』に、グローバル英語コース高校2年生が出展し、今年も各部門で入賞することができました！【高校生助成プログラム】Mirai ミール「フードロス・セールズ」⇒優秀賞をいただき、活動助成金をいただくことになりました。昨年度のFair for Smile に続き、2年連続の受賞です！

【ポスター発表】

①HOPE「どんな人でも支えられる社会にするには」
⇒優秀賞4チームの1つに選ばれ、さらに、閉会式でステージ発表させていただく1チームにも選ばれました。
②E-world「私達が男女平等のためにしたい10のこと」
⇒見に来てくださった方々の人気投票で、HOPEと並んで同点一位となり、表彰をいただきました。このほか、ブース出展も行い、5チームが合同で活動報告やアンケートなどを行いました。ブースにも多くの方々にお越しいただきました。グローバルワークショップA（GWA）のさまざまな企画について耳を傾けてくださり、ご意見や励ましの言葉などもいただきました。どうもありがとうございました。今回いただいた賞やお声を励みに、さらに精力的に活動を進めていくことを期待しています！



NOTRE DAME
JOGAKUIN

2019

ノートルダム女学院中学高等学校

STE@M
探究
Course

11月30日（土） 谷田桜子先生の講話

2019年11月30日に東京大学先端科学技術研究センターより生物物理学の谷田桜子先生がノートルダム女学院に来校され、STE@M探究コースの生徒を対象にご講演をいただきました。谷田先生は生物の集団行動における物理モデルの研究をされており、その研究の一例として渋滞の実験を本校生徒とともに行っていただきました。簡単で楽しい実験でしたが、実験から得られたデータを物理モデル化することにより渋滞のメカニズムが明らかになるというもので、STE@M生の取り組んでいる探究活動において大変参考となるものでした。

12月12日（木） 島津製作所訪問

STE@M探究コースでは、12/12(木)に島津製作所を訪問しました。株式会社島津製作所は、同所に勤務する田中耕一氏が2002年にノーベル化学賞を受賞したことからもよく知られておりますように、京都でも有数の研究開発型の老舗企業です。同所を実際に訪問し、その道のプロから分光学の基礎を体験・製作を含めて学びました。



2019

ノートルダム女学院中学高等学校

School
Event

11月25日（月） 關谷ゼミ来校

◆関西学院大学から、視察・授業分析に来られました！◆
11月25日（月）、関西学院大学国際学部教授の關谷武司先生、そして先生のゼミ学生の方々8名がノートルダム女学院に来校され、朝から夕方まで、数多くの授業やクラブ活動等に入り込んで、ノートルダム女学院の一日を視察・参加されたり、授業分析を行ったりされました。

本校は2016年より、関西学院大学と協定校となり、それ以来、協定校関係のもとで様々な取り組みを行ってまいります。今回の視察・授業分析も、それらの取り組みの一つです。



12月11日（水） 關谷先生 研修会

12月11日午後、教員研修会として関西学院大学国際学部・關谷武司教授に招き、ご講演をいただきました。關谷教授は、国際ボランティア、JICA派遣専門家、国際協力コンサルタントとして、国内外の教育プロジェクトの形成、実施、評価等に携わっておられます。今回は、11月25日に本校の教育活動を一日かけて調査された結果を踏まえ、ゼミ学生の皆さんとともに分析結果をお話しくださいました。本校の教育活動を客観的に分析された結果を多くの教職員で共有することができ、本校教育の更なる発展に大いに役立つ研修となりました。



2019

ノートルダム女学院中学高等学校

School
Event

11月27日（水） 高円宮杯第71回全日本中学校英語弁論大会

9月22日（日）、高円宮杯第71回全日本中学校英語弁論大会京都府予選が行われ、グローバル英語コース中学3年の三林心温さんが見事第1位に選ばれました。三林さんは、2年連続優勝、そして3年連続、京都府代表として中央大会への進出を決めました。

さらに、11月27日に東京で行われた中央大会でも上位入賞、11月29日にはファイナルとなる全日本決勝に進み、見事7位に入賞を果たしました



12月11日（水） 表敬訪問

高円宮杯第71回全日本中学校英語弁論大会にて、見事7位に入賞を果たしたグローバル英語コース中学3年の三林心温さんが表敬訪問。

理事長、学校長、コーチのバージェス先生の前で、再度披露しました。

大会での表彰状やトロフィーを理事長に見てもらいました。



2019

ノートルダム女学院中学高等学校

School
Event

12月5日（木）

左京区納税貯蓄組合連合会、国税庁より受賞されました

左京区納税貯蓄組合、国税庁主催
第53回中学生の「税についての作文」より、本校生徒が
受賞されました！

◆京都府納税貯蓄組合連合会 会長賞◆

作品「世界で使われる税」 中学3年：城山さん受賞

◆京都市左京区租税教育推進協議会◆

作品「ワインと税金」 中学3年：森田さん受賞

◆左京納税貯蓄組合連合会 会長賞◆

作品 「税の未来予想図」 中学3年：水嶋さん受賞

12月9日（月）

放送局中学生の作品がダブル入賞！

「自転車交通安全CMコンテスト」で、放送局中学生の作品
がダブル入賞！

KBS京都と京都府警察が主催する「第9回自転車交通安全
CMコンテスト」で、昨年に引き続き今年も本校放送局中
学生が制作したラジオCMが入賞しました！ 今年も、「京
都府トラック協会特別賞」「アイデア賞」の2つもの賞を頂
きました！ 写真は12月8日にホテル日航プリンセス京都
で行われた表彰式のもの。入賞作品はKBS京都の自転車交
通安全CMコンテストのホームページにアップされる予定で
す



12月4日(水) 読売新聞に活動を取り上げられました

(第3欄郵便物部可)

2019年(令和元年)12月4日(水曜日)

読売

第3

第1

第1

読解力低下 学校に危機感



国際学力調査

3日に結果が発表された2018年の国際学習到達度調査(PISA)。「読解力」を中心とした順位の低下に学校現場は衝撃を受け、危機感を募らせている。

〈本文記事1面〉

「まさかそこまでとは…」大阪府立中の校長は、日本の読解力の順位が前回15年の8位から15位に落ちたことにショックを受けていた。

スマートフォンのゲームやSNSの普及で生徒の読書量が減って読解力が下がったと感じており、「本に触れて語彙を増やし、視野を広げることが大切。部活やスマホ、塾と忙しすぎるのではないかと指摘した。

東京都立高の男性教諭は「Aのピーカーの中身をBのピーカーへ」移す実験をした際、手順を文で示しても、逆に「Bのピーカーの中身をAへ」と移してしまう生徒がいたことに衝撃を受けた。「『てにをは』をしっかり理解できていないのかも」と考える。

調査対象の生徒は早い時期からSNSに接してきた世代だ。調査では、短文をやり取りするチャット機能を毎日のように使う生徒が

SNS世代 深く考えず反応

急増して9割近くになる。基礎的な内容の学び直しに力を入れる大阪府立淀川清流高校(大阪市東淀川区)は、現代文の授業で小説や評論文を教段落ごとに分割したプリントを使う。

長い文章に苦手意識を持つ生徒が多いといい、国語科の藤原太郎教諭(49)は「生徒は短い文を読むことには慣れている。取り組みやすい分量で教えている」と話す。

より積極的な取り組みも始まっている。

私立ノートルダム女学院中学・高校(京都市左京区)では、自分の意見を文章にまとめたり、発表したりする「国語表現」の授業を今年度から、中学1年で始めた。PISAの「読解力」と重なる、論理的な思考力や表現の技術、情報を分析する力を伸ばすのが狙いだ。

3日は、約30人が4班に分かれ、2班はテーブルを囲んで「イラスト用のペン」の良否の宣伝、「女子中学

先進的な理数教育を行う「スーパーサイエンスハイスクール」の東京都立多摩科学技術高校では、実験や実習を通じた課題研究を重視する。2年生の1学期で実験器具の扱い方などの基礎を学び、2学期以降、課題を自分で考え、実験などを経て発表につなげる。

文部科学省はこうした取り組みを奨励しつつ、小中学校で実験の準備やサポートをする「観察実験アシスタント」の配置などを通じ、子供の科学への興味関心を引き出したい考えだ。

「科学への興味」も課題

科学的応用力は、前回の2位から5位へと順位を下げた。依然トップクラスの公立中の女性理科教諭(57)は「知識偏重でなく、生徒に身近な現象への好奇心を持たせ、考察する授業に取り組みないと、科学的応用力は育たない」と話す。

2015年の「国際数学・理科教育動向調査」(TIMSS)で「理科は楽しい」と答えた中学2年生は、66%。国際平均より15%低かった。実験の多い小学校に比べ、中学校からは、知識重視となるためとみられる。



生のためのYouTubeの注意ポイント)について討論。残る2班は意見交換が活発だったかなどを評価した。

酒井ゆり香さん(13)は「相手が納得する理由を考えて、意見を発表しなければいけない。難しいけどやりがいがある」と話す。

国語科の板谷悠子教諭(40)は「SNSに慣れているからか、深く考えずに返す子が増えているように感じる。相手の意見を正しく理解し、そのうえで自分の考えを伝えられるようになってほしい」と期待している。

2019

ノートルダム女学院中学高等学校

School
Event

11月22日（金）～12月1日（日）
京都秋の特別公開

和中庵 秋の特別公開
令和元年11月22日（金）～12月1日（日）
拝観見学者：総計1,523名



11月28日（木） 中2生の性の講演会

11月28日(木) 6時間目に性に関する講演会を行いました。講師は本校の卒業生で、奈良の大学で看護学を教えておられる服部律子先生です。ギリシャ神話のアンドロギュノスの話を通して、自分の可能性を広げることを学びました。学生の発達に合わせて、中2は「いきいきと自分らしく生きるために」というテーマです。

12月13日～14日 ボランティアスクール

12月13日～14日、生徒50名が参加して、第44回ボランティアスクールが開催されました。13日は「車いすと仲間の会」の大藪光俊氏の講演に続き、車いす初心者は講堂で基本操作を学び、経験者は校外で車いすの実習を行いました。14日はコミュニケーション支援について学んだあと「車いすと仲間の会」の皆様をお迎えして、祈りの会やクリスマスパーティーで共に時間を過ごしました。食事やゲームを通して来て下さった方々から多くを学ばせていただきました。



NOTRE DAME
JOGAKUIN

2019

ノートルダム女学院中学高等学校

入試広報

11月30～12月1日（土・日）
クリスマス入試説明会

11月30日(土)と12月1日(日)、今年度最後の説明会となるクリスマス入試説明会を開催しました。両日で小中学生合わせて約80組の参加があり、はじめて本校を訪れた、または学校説明を聞くという人が3分の1以上いらっしゃいました。コース長をはじめスタッフの教員からは、それぞれのコースの取り組みについて熱のこもった説明が語られ、在校生は期末テスト中でしたので、生徒会役員が参加者へのメッセージを動画で届けてくれました。「学校の雰囲気や学習内容がとてもよく理解できた」と参加者の皆さんに好評でした。受験生の皆さんのご健闘をお祈りします。



今年度最後の入試説明会です。

クリスマス入試説明会

本番直前の入試情報のお知らせや、個別の入試相談を承ります。ご家族で是非お越しください。

いずれもお申し込みが必要です。

夕方から行う個別相談会です。

11月 30(土) 14:00～ 13:30受付開始

12月 1(日) 10:00～ 9:30受付開始

トワイライト個別相談会

12月 13(金)・16(月)～20(金) 各日 16:00～20:00

いつもより、少し遅い時間まで行っています！